



電動化対応トラック・バス導入加速事業

2019年度要求額
1,000百万円（新規）

事業目的・概要等

背景・目的

- 温暖化対策目標の達成に向けて、運輸部門のCO2排出量の3割を占めるトラック・バスからのCO2削減が重要。
- 一方で、電動化対応トラック・バスは、ディーゼルトラックに比べ車両価格が高いこと、トラック・バス向けの充電設備が十分でないことが、普及に向けて大きな課題。
- 電動化対応トラック・バスの普及に不可欠な充電インフラの整備にも補助することで、普及初期の導入加速を支援。

事業概要

- 電動化対応トラック・バスの導入を支援。
- 事業所及び営業拠点への充電インフラの整備を支援（EV、PHV）。

事業スキーム



補助対象:トラック・バス所有事業者
(営業用車両は電気トラック、大型HVTトラックに限る)
実施期間:2019年度から3年間
補助額:標準的燃費水準車両との差額の一定率(HV:1/2,EV:2/3)
電気自動車用充電設備の導入費用の1/2

期待される効果

- 電動化対応トラック・バス（EV、HV）の導入加速（2025年度の新車販売中の比率約8.6%）
- 運輸部門における効率的な電動化対応車両の導入方法が確立。

事業イメージ

補助対象トラック・バス

	対象とする車両の環境性能※	2019年度時点で想定されるもの	
		トラック	バス
大型	最新の燃費基準+10%程度以上	HV	EV、HV
中型	同10%程度以上	HV	PHV、EV
小型	同15%程度以上	EV、HV	EV

※HVにのみ係る要件

充電設備

《種類》

- ・急速充電設備
- ・普通充電設備

《設置場所》

- ・事業者の敷地等

